

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO.20 2006年10月1日

目 次

第2回研修会の報告	1	臨床こぼれ話	7
学術局から	3	理事会等報告	8
社会局から	5	求人情報	10
施設紹介	6	事務局から	15

第2回研修会・県民公開講座が開催されました

平成18年9月3日(日)千葉市民会館にて、平成18年度第2回研修会が開催されました。今回は千葉県言語聴覚士会初の試みとして、研修会を県民公開講座と位置づけ、シンポジウム及び講演会を行いました。「県民みんなで考えよう 豊かなコミュニケーションを!」をテーマに、たとえことばに障害があっても、すべての人がその人らしく暮らし、伝え合い、支え合えるまちづくりを県民の皆様とともに考えようと、生まれたばかりの赤ちゃんから高齢者にかかる問題まで、様々な分野の専門家を招き、分かりやすい話になるように配慮しました。

講演者は下記の通りです。参加者は234名(うち会員・会友99名、会員外135名)でした。当日行ったアンケートの結果を、一部ご紹介します。

テ　ー　マ	講　師
シンポジウム 「軽度発達障害をもつ子どもたちへの支援」	北海道大学 田中 康雄 先生 千葉県教育庁 加藤 哲 先生 鴨川市立鴨川小学校 加藤 恵子 先生 亀田クリニック ニノ形 恵 先生
講演「きこえの障害の早期発見のために」	千葉県立衛生短期大学 工藤 典代 先生
講演 「成人のコミュニケーション障害と関連症状の見方」	市川高次脳機能障害クリニック 小嶋 知幸 先生

アンケート結果：軽度発達障害をもつ子どもたちへの支援

- (当事者の家族) 加藤先生、田中先生の熱い思いは十分に伝わってきました(他1名)。行政に期待する部分は大きいので、19年度からの特別支援教育がどのように実践されていくのか、慎重に見守っていきたい。
- (養護) それぞれの立場での専門的な話しを聞くことができ、大変勉強になりました。すばらしい実践をお持ちの方々ですので、少々時間が足りなかったように感じました(他10名)。4人の方々の意見交換、情報交換も聞かれるよかったです。
- (当事者の家族) 田中先生のご意見に同感できるところばかりで、勇気付けられました。自分がやつてきたことにはじめて自信を持ち、これからも続けていこうと思いました。(他11名)

- ・（中学教育）障害の特定にこだわらず、全体像を見ること、保護者へのねぎらいなど他の研修会にはないお話をしました。少し肩の力が抜けました。
- ・（中学教育）「今までにもこんな子いた」といわれた時代から、特別支援が必要な子として取り上げられる時代になり、取り上げることの良し悪しをきっちりと理解する必要がある。子どもが中心にいること、親のサポートの大切さを実感できよかったです。
- ・（小学教員）教員が直接医師と話し合っても良いということをはじめて知り、さっそく行動に移したい。教員にも役立ちました。
- ・（保育士）違う視点から障害児について考えることができ、明日からもう一度、対応について振り返っていきたいと思う。
- ・千葉大の先生の医療と哲学の「共有」が待たれます。すべてのことは人があつてそれによって起こるので、この子（人）はどんな気持ちかということを大切にしたい。
- ・（福祉その他）せっかくのシンポジウムなので、具体的な課題に基づいての話であつてほしかった。はじめの話が長すぎ、1人5分くらいでそこから進めてほしい。そうしないと話がかぶってしまいシンポジストの特性が見えない。また、シンポジストに家族も入れてほしかった。

アンケート結果：きこえの障害の早期発見のために

- ・（当事者の家族）参考になりました。工藤先生にはその後の療育Q&Aをお願いしたいです（他1名）
- ・（当事者の家族）65デシベルで補聴器をしている方に対し、補聴器をしていればきこえているように思っていました。もっと勉強するべきだったと思います。障害者雇用で接客の仕事をしていますが、みんなの理解のなさに困っています。
- ・（学生養護教員養成）難聴乳幼児のための施設が少ない現実を知ることができた。また具体的な検査内容を知ることで、早期発見・治療の大切さを改めて感じた。
- ・（教員）就学指導前に何か気になるお子さんに対しての声かけをしてあげられそうです。
- ・（S T）大変わかりやすく、興味深かったです（他1名）

アンケート：成人のコミュニケーション障害と関連症状の見方

- ・（P T）失語、失行、失認、構音障害について勉強になりました。VFの映像をはじめて見せていただけて満足です（他2名）。
- ・（S T学生）とてもわかりやすくこれらの参考になりました（他2名）。
- ・（ケアマネージャー）もう少し時間をとってください。
- ・（S T）訓練法（注意・記憶・空間認知）を少し教えていただけたらうれしかった（他3名）。
- ・（S T）もっと詳しく聞きたかった（他1名）。
- ・（当事者の家族）失語症者等の患者の家族のための講座を開いていただきたいです。医療用語などのことばの説明ではなく、日常生活に役立つ知識がほしいです。
- ・（S T）何度も教科書を読んでも理解できないところを埋めていただけて勉強になりました。

県士会への意見

- ・養護学校へも、研修の案内等送付して頂きたい（他2名）。
- ・（当事者の家族）学童期の言語訓練を受けられる施設・医療機関が少なすぎる。
- ・また参加したい（他4名）。
- ・（当事者の家族）今回のシンポジウムのような講座をまた聞きたい。
- ・（S T）シリーズで研修会を開いていただけたらと思う。
- ・（その他）参加者は割合若い方が多いようなので、活躍を期待しております。
- ・（当事者の家族）家族のための講座を開いてください。

学術局より

初めての公開講座ということでしたが、たくさんの方々にご参加いただき、内容的にも満足のいく研修会になったと思います。お忙しい中おいでくださいました研修会参加者の皆様と、45名に及ぶ運営スタッフのご協力に心から感謝申し上げます。

今回、総勢6名のシンポジスト、講師の先生方にご協力いただきました。第一線でご活躍中の先生方からのお話を、知識としてだけではなく、S Tの受け持つ領域の広さ、深さをも実感する機会となったのではないかでしょうか。また当事者の方々も参加していただき、貴重なご意見をいただきました。今回の研修会が、日々奮闘されている全ての方々に少しでもお役に立てればと願っております。

次回以降も研修会へのご参加とご意見をお待ちしています。

学術局から

1. 平成18年度 第3回研修会のお知らせ

「成人の高次脳機能障害」症例検討会

下記の通り、第3回研修会を開催します。今回のテーマは「成人の高次脳機能障害」です。皆様お誘い合わせの上、ご参加いただきますようお願いいたします。

* 日時：平成18年11月26日（日） 13時～16時

* 会場：川鉄千葉病院

* 内容

. 症例検討会〔13：00～15：05〕

提案者：須田 真紀 先生（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

高木 美沙 先生（千葉德州会病院）

コメンテーター：

小林 球記 先生（自動車事故対策機構 千葉療護センター）

尾高 恵美 先生（作業療法士 介護老人保健施設クレイン）

. 情報交換会〔15：20～16：00〕（会員・会友のみ）

* 申込：同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。

2. 研修会ビデオの貸し出しと資料の送付

1) ビデオの貸し出し

これまでに行った研修会のビデオの貸し出しを行っています。下記の要領でお申し込みください。
方 法：返信用封筒（B5またはA4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（ビデオ1本270円分、2本390円分）を貼って送ってください。

あ て 先：〒271-0043 千葉県松戸市旭町1-160 松戸神経内科 四方田 博英

貸出ビデオ：対象となる研修会についての詳細は、県士会ホームページをご覧ください。

貸出期間：1ヶ月

貸し出しについての注意

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。ビデオテープの代金を弁償していただきます。

2) 資料の送付

希望者に研修会資料の配布を行っています。返信用封筒（A4サイズ）に住所、氏名を書き、切手（200円分）を貼りお送りください。あて先はビデオ貸し出しと同様です。対象となる研修会についての詳細は、県士会ホームページをご覧ください。

3 . 新学術局員の紹介

新たに2名の局員が学術局に加わりました。理事会承認を経て、7月から活動しています。

前里 伸子（我孫子市こども発達センター） 前田 真理子（名戸ヶ谷病院）

特集：私の地域の勉強会

県内各地で行なわれている勉強会を順番にご紹介します。第1回目は「柏近隣ＳＴ勉強会」です。

柏近隣ＳＴ勉強会

当勉強会は、県士会の地域別勉強会の1つとして2004年5月に発足いたしました。主に、柏・松戸・我孫子・流山等の病院や老健施設に勤務するＳＴが参加しております（時折、学生さんや学校の先生などの参加もあり大歓迎です）。

内容は、主に症例報告です。参加しているＳＴが日々の臨床で行っている評価・訓練・課題・問題点等について、率直な意見交換を行なっています。これまでの症例をいくつかご紹介いたします。

- ・高次脳機能障害と失語症を呈した症例での注意障害への具体的な訓練方法
 - ・失読失書の症状を呈した方の4年間の訓練経過
 - ・感覚性失語症例の訓練経過
 - ・失調性 Dysarthria の臨床経過
 - ・重度の開口障害・嚥下障害を呈した症例のリハビリテーションについて
 - ・小児・機能性構音障害の訓練経過
 - ・発話生成に伴う自発的身振りの役割について
 - ・我孫子市における失語症会話パートナー養成事業の現状と課題
- など

このように、内容は幅広く多岐にわたっております。

また、2006年度の医療・介護保険法改正時には、県士会で行われた会議での法改正の解釈などの情報をいち早く勉強会においても意見交換することができました。

近隣地域でのＳＴのネットワークがあることで、退院後利用できる地域施設の情報なども得ることができます。

当勉強会には経験豊富なスーパーバイザーとなる先生方がおられますので、たいへん力強いです。新人や1人職場などで不安がある方もぜひご参加ください。

次回の勉強会は下記の予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

10月7日(土)18:15～ 於：北柏リハビリ総合病院

- ・注意障害を呈した症例の具体的な評価・訓練についての検討
- ・高次脳機能障害の方のための電子教材のご紹介
- ・英国「コネクト」活動紹介

連絡先：松戸神経内科 木村佐知子

会員の皆様のご協力により、地域の勉強会が開催されています。同封の「地域勉強会一覧」をご参照の上、奮ってご参加ください。ホームページではこの情報について随時更新を行なっていますので、ぜひご利用ください。

社会局から

1. 平成18年度「千葉県PT・OT・ST士会役員連絡会」が開かれました

8月30日(水)18時30分~20時30分 千葉県理学療法士会事務所にて「千葉県PT・OT・ST士会役員連絡会」が開催されました。主な協議事項は次の通りです。

- ・昨年度の事業報告
- ・今年度の事業計画
- ・千葉県PT・OT・ST士会合同公開講座(仮称)開催について

千葉県PT・OT・ST士会合同で行う公開講座の開催について提案があり、講座内容・会場・定員・時期・各士会供出金について協議されました。今後さらに各士会で検討するとともに、10月10日(火)に各士会から会長及び会員1人が出席し、運営委員会を行い詳細について検討する予定です。

2. 県士会ホームページ

ホームページに掲載中の「県内の言語訓練施設」一覧と「養成校一覧」を更新しました。ご覧ください。なお、ご所属の施設などに変更がありましたら、掲載内容を更新いたしますので、お知らせください。

会員が関連する研修会の案内などをホームページに掲載する場合は、理事会の承認を必要としますので余裕を持って申し込んでいただきますよう、お願いいたします。

委員会から

特別支援教育委員会

~多職種で連携を~

「特別支援教育」の制度は、乳幼児期、学齢期、卒業後、生涯学習という個人の一生を視野に収めた「個別の支援計画」のなかの、特に学齢児期に焦点をあてた制度です。

この制度は、STが従来からかかわってきたLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)、高機能自閉症等の子どもたちの現状を改革する大きな力になると期待されます。平成19年度本格実施を目前に、本年度より、この制度にSTが参画しやすくなる態勢を整えるために、特別支援教育委員会が発足しております。

学齢児期の言語障害児(特別なニーズのある子)を支援するためにSTが果たすべき役割は重要ですが、STのみで必要なサービスのすべてを提供することは不可能です。成人の言語障害者の場合と同様に、関係する多職種(医療・教育・福祉の各機関に所属する各種専門職)との共通認識に基づく連携が欠かせません。特別支援教育委員会はそのシステムづくりやSTの資質の向上のために、情報収集や研修会開催の活動をしております。

本年9月3日には、県士会学術局開催の「県民公開講座 県民みんなで考えよう 豊かなコミュニケーションを!」において「軽度発達障害のある子どもたちへの支援」と題したシンポジウムを企画しました。シンポジストとして病院に勤務するST、元教育事務所指導主事で現小学校教頭、県教育庁教育振興部特別支援教育課長、大学院教育学研究科教育臨床講座ならびに子ども発達臨床研究センター教授(児童精神科医・臨床心理士)と多彩な顔ぶれをそろえ、小児神経科医の指定発言をいただきました。

一般参加者が135名と多数おられ、新聞記事にもなりました。少しはSTの知名度が高まり、県民にSTを活用していただきやすくなったのではないかと、喜んでおります。

今後も、皆様のより一層のご協力を願い申し上げます。

選挙管理委員会

新たに1名の委員が加わりましたので、ご紹介いたします。

塚原信子(白金整形外科病院)

施設紹介

医療法人社団 東明会 下総病院 S T 横山 由姫乃

当院は、昭和48年に開設された医療療養型病院です。系列施設には、介護老人保健施設「スター・チス船橋」、居宅介護支援事業所「スター・チス船橋」、訪問看護ステーション「ちひろ」、高齢者共同住宅「光ハイツ」があります。すべての施設が協力し合いながら、地元に根付いた医療・介護を提供できるよう取り組んでいます。

近年、摂食嚥下障害は、広く一般的に知られるようになりました。しかし、嚥下に不安を抱えている在宅の方や検査設備の整っていない医療・福祉施設の方が、摂食嚥下障害に対する検査や訓練を受けられる場は多くありません。そこで、当院では、昨年4月より「嚥下外来」を開始しました。嚥下外来を受診された患者様に対しては、医師、リハビリスタッフによる評価およびVF検査を行なったのち、症状にあわせたりハビリを指導しています。自宅や施設が遠方の場合には、検査入院も可能です。

また、今年の9月からは訪問診療部を設置し、24時間体制の在宅訪問診療を開始しました。それにともない、訪問リハビリテーションも行なうようになりました。

嚥下外来や訪問診療に関しては、パンフレット等も用意してあります。何かございましたら、いつでもご連絡下さい。

〒274-0075 船橋市滝台町94-22 TEL:047-464-8111

自動車事故対策機構 千葉療護センター S T 小林 球記

千葉療護センターは、独立行政法人自動車事故対策機構法という法律に基づいて設置運営されており、自動車事故による脳損傷によって重度の後遺障害が残ったいわゆる遷延性意識障害患者さんの治療と看護の専門病院です。昭和59年に開院し、入院定数80名で、多くの入院申し込み者を外部の入院審査委員会により公平性と効率的運用を図って入院の順番を決めています。現在は、千葉市、仙台市、岡山市、美濃加茂市の全国4ヶ所に療護センターがあります。

当センターのリハビリ部門は、ST・PT各2名います。入院患者さんの状態は、障害の重度重複、全身状態が不安定、覚醒不十分、自発性や注意・集中力の低下、易疲労性、記憶障害など症状も多彩であり、訓練は常に良い状態で行なえるわけではありません。私たちスタッフは、五感への刺激や日常生活での状態や反応をきめ細かく観察しながら、患者さんの残存能力を探り、人的・物的な環境整備を行ない、少しでも良い状態で過ごせるように働きかけています。

患者さんのご家族からは「コミュニケーションが取れるように」「一口でもいいから食べられるように」という要望が非常に多くあり、STへの期待は大きいものです。実際、患者さんの中には重度の運動障害のために表現手段を失っていたり、関わる人が「この人は何も認知していない」と思い込んでいたりして、これまで適切な関わりが得られなかつたケースもあります。また、摂食・嚥下機能訓練の適応がなく廃用性が進んだ患者さんの中にも、段階的な訓練を行って味覚刺激程度の摂取や経管栄養から経口摂取へ移行できたケースもあります。その効果は、短時間で画期的な改善が認められるることは少ないものの、年単位で緩慢ながら変化してくる場合がよくあります。改善と言っても大部分は介助が必要ですが、日常生活の中で可能な限り患者さんご自身の意思が反映され尊重されるよう、他職種と協働しながら支援しています。

〒261-0012 千葉市美浜区磯辺3-30-1 TEL:043-277-0061

臨床こぼれ話

Tさんの笑顔

先日、外来患者のTさんが訓練室にやって来て「ねえ、私、何か違わない？」と、嬉しそうに聞いてきました。私はTさんの顔の感じが少し違うことに気が付いていましたが、本人の口から聞きたくて「何かしら？」と聞き返しました。するとTさんは「これよ、これ」と言って口の中に指を入れ、義歯とは少し違うピンク色の塊を出して見せてくれました。

Tさんは数ヶ月前に小脳・脳幹部の梗塞でワレンベルグ症候群を呈した50歳代の女性です。うつ病の既往もあり、少し神経質で不安の訴えの多い方でした。入院時の状態はウォーカーで歩行可能でしたが、嚥下障害、開口障害、構音障害、左顔面神経麻痺、右半身の感覚障害があり、栄養摂取は経鼻チューブでした。医師、PT、OT、ST、看護師、歯科医師、歯科衛生士、そして栄養士も入りTさんの訓練が始まりました。開口、嚥下訓練に加え、当院では初めての味噌汁や重湯を中心としたゼリー食の導入も行い、退院時には3cm開口が可能となり、経口で全粥、軟菜、薄いトロミ付きの液体が摂取可能になっていました。「どうしても食べたい。」「私の趣味は食べ歩きなの」「食べられないと人生の楽しみがないのよ」と、入院時から経口摂取を切に願っていたTさんの希望は充分ではありませんでしたが、少し形になっての退院でした。毎日聴かれていた不安の訴えも、経口摂取の開始と共に少しずつ少なくなっていました。退院後は「怖いから新しい物は食べないよ」と言っていましたが、家族の協力のもとリハビリを続けて常食の食事が可能となりました。

食事が安定したことTさんの気がかりは顔面神経麻痺へと次第に移っていました。入院時よりは軽減していた顔面神経麻痺ですが、依然として左口角と眼瞼は下垂し、頬はくぼんでいました。顔が気になるTさんは外出の時にはマスクを着用しています。「完全に元の通りに戻らないのは仕方がないけど、今よりも少しでも良くなりたい」そんな言葉が聞かれていました。

それを叶えたのが、Tさんの口から出てきたピンク色の塊なのです。Tさんの訴えを聞いた歯科医師は義歯を作るときに使うレジンを使って、左の頬を膨らませる補綴物を作ってくれました。それは左の上の奥歯にひっかけて装着し、口の内側から頬のくぼみを膨らませる物です。ただのレジンの塊では割れやすいので中にワイヤーを入れ、補強もしてあります。その日はその補綴物が完成し、装着して訓練室に来ていたのでした。「凄いでしょ、完成したのよ。入れ歯と同じ手入れで良いんだって。」とTさんは満面の笑みでした。そして「顔の左右差が少なくなったでしょ？ これでマスクをしないで外を歩けるわよ」と言い、旦那様と並んで帰っていました。

人は誰でも外見を気にするのですが、女性の方が強く外見を気にすると思いますし、それが顔ならなおさらです。歯科医師も初めての経験との事でしたが、柔軟な発想で対応してくださりTさんには外出の楽しさと笑顔が戻りました。退院後、外出の進まなかったTさんがこれから何処へ出掛けるのか、私も毎週楽しみに報告を待ちたいと思います。

市川市リハビリテーション病院 松野 友美



理事会・委員会報告

平成18年度 理事会

第4回

日時：2006年6月11日（日） 10:13～13:42 場所：プラザ菜の花 2階サークル室p a 1 B室
出席者：猪野 宇野 岡田 斎藤 庄司 野島 野原 四方田（以上理事8名） 吉田（書記）
(事務局より) ・会員の入退会 ・第3回理事会議事録承認 ・総会反省 ・平成17年度紀要 ・ニュース 19
・旅費精算手続き
(学術局より) ・第1回研修会・懇親会反省 ・研修会実施手引き作成 ・公開講座実施要綱 ・公開講座ちらし
・年間研修会計画
(社会局より) ・新年度挨拶計画 ・HP掲載基準 ・生涯学習プログラムアンケート結果からのR S T協会への提言
・法人化資料収集
(その他) ・R S T協会都道府県士会協議会の代表者会議報告

第5回

日時：2006年7月9日（日） 10:03～12:39 場所：プラザ菜の花 2階サークル室p a 1 B室
出席者：猪野 宇野 岡田 斎藤 庄司 野島 野原 四方田（以上理事8名） 長谷川（特別支援教育委員会）
吉田（書記）
(事務局より) ・会員の入退会 ・第4回理事会議事録承認 ・平成18年度会則（委員会・組織図） ・入会申込書
・旅費精算手続き ・選挙管理委員会委員1名追加
(学術局より) ・第2回研修会・公開講座打ち合わせ ・学術局員2名追加
(社会局より) ・挨拶まわり
(その他) ・特別支援教育委員会調査結果に基づく「地域勉強会」の必要性、可否
・県教育委員会主催「巡回相談」相談員募集と対応 ・「言語聴覚士の活用依頼文」配布方法、変更手続き
・委員会の位置づけ

第6回

日時：2006年7月30日（日） 10:00～12:45 場所：プラザ菜の花 2階サークル室p a 1 B室
出席者：猪野 宇野 岡田 斎藤 庄司 野島 野原 四方田（以上理事8名） 中村（書記）
(事務局より) ・会員の入退会 ・第5回理事会議事録承認 ・旅費清算書 ・広告規定細則改定、申込書改訂
(学術局より) ・第2回研修会・公開講座打ち合わせ ・第3回・第4回研修会 ・地域勉強会会報掲載
(社会局より) ・HP掲載規定

第7回

日時：2006年8月20日（日） 9:56～12:46 場所：プラザ菜の花 2階サークル室p a 1 B室
出席者：猪野 宇野 岡田 斎藤 庄司 野島 野原 四方田（以上理事8名） 三原（書記）
(事務局より) ・会員の入退会 ・第6回理事会議事録承認 ・会則、細則の見直し ・ニュース 20構成
(学術局より) ・第2回研修会・公開講座打ち合わせ ・第3回研修会計画
(その他) ・PT・OT・ST役員連絡会でのり・フレット・チラシ配布 ・組織変革および専門部会制度について
・千葉県PT士会、千葉県OT士会、千葉県社会福祉協議会とのHPリンク作成報告

実態調査委員会

第1回

日時：2006年7月9日（日） 14:00～17:00 場所：高洲コミュニティーセンター

出席者：新井 荒木 斎藤 酒井 篠原 竹中（以上委員6名） 宇野（担当理事）

・今年度調査の範囲 ・保険制度の変更と、その予想される影響 ・活動計画、役割分担

第2回

日時：2006年7月30日 13:30～17:00 場所：高洲コミュニティーセンター

出席者：新井 荒木 斎藤 酒井 竹中（以上委員5名） 宇野（担当理事）

・今年度調査の範囲、目的、内容

第3回

日時：2006年8月27日（日） 13:30～16:00 場所：高洲コミュニティーセンター

参加者：新井 荒木 斎藤 酒井 篠原 竹中（以上委員6名）

・平成18年度診療報酬改定の背景、改訂内容の確認 ・調査目的、項目、形式

特別支援教育委員会

第1回

日時：2006年7月2日（日） 10:00～14:00 場所：千葉大学医学部附属病院 リハビリテーション部

参加者：和泉澤 太田 古森 高畠 野島 長谷川 宮本（以上委員7名）

・年間計画 ・シンポジウムの内容検討、役割分担 ・巡回相談の取り組み ・特別支援教育でのS.T.の活用

第2回

日時：2006年7月28日（金） 20:00～24:00 場所：千葉大学医学部附属病院 リハビリテーション部

参加者：和泉澤 太田 古森 高畠 野島 長谷川 宮本（以上委員7名）

・公開講座アンケート、日程など ・地域勉強会の在り方

新生児聴覚スクリーニング検討委員会

第1回

日時：2006年7月29日（土） 9:00～11:00 場所：千葉市療育センター 第三第四会議室

出席者：猪野 岡田 庄司 高橋（以上委員4名） 丸橋（書記）

・活動方針の確認 ・役割分担 ・公開講座での役割分担、講演内容など ・公開講座アンケート

（紙面の都合上、報告事項と協議事項はまとめて記載しています。）



求人情報

(2006年9月14日現在)

詳細は、千葉県言語聴覚士会ホームページをご覧下さい。

社会福祉法人あそか会 あそか病院

募集：言語聴覚士 正社員（有資格者、未経験者も可）

対象：高次脳機能訓練、成人失語症訓練、構音障害訓練、嚥下障害訓練等

その他：8時30分～17時（平日） 8時30分～12時30分（土曜日）

休暇：日・祝・月2回土曜日、有休、夏季、年末年始等、給与 240,000円～（手当込、年齢・

経験考慮）昇給年1回、賞与年2回、退職金制度あり、交通費支給（上限50,000円）

健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、勤務開始時期応相談（12月より勤務できる方）

当院は診療科18科、一般病床265床の総合病院です。リハ科は常勤医師1名、PT6名、OT3名、ST1名でリハビリを行っております。今回、新たな施設基準取得予定の為、人員募集です。意欲のある方、お待ちしております。

応募方法：電話・メールにてご連絡お待ちしております。

問合せ先：都営新宿線・半蔵門線「住吉駅」徒歩5分、JR総武線「錦糸町駅」徒歩9分

〒135-0002 東京都江東区住吉1-18-1

社会福祉法人あそか会あそか病院 総務課 本多 TEL 03-3632-0290

HP <http://www.asoka-hp.or.jp>

三矢会 八街総合病院

募集：言語聴覚士（経験3年未満）もしくは来年度資格取得見込みの方

その他：8時30分～17時30分、完全週休2日制（水・日）特別休暇、有給休暇、

年末年始休暇、給与：当法人規定により優遇

応募方法：面接（詳細はお電話にてお問い合わせ下さい）

問合せ先：理学療法科 課長 小林 昌利（直通043-443-7313）

帝京大学ちば総合医療センター

募集：言語聴覚士 常勤1名（有資格者もしくは資格取得見込みの方）

対象：成人言語・認知、小児言語・認知、聴覚、発声・発語、摂食・嚥下、その他

その他：8時30分～17時（土曜8時30分～12時30分）4週6休、有給休暇初年度20日

初任給195,471円（ただし経験加算あり）待遇：当院規定による、各種社会保険完備

平成19年4月1日より

応募方法：有資格者：履歴書、免許証（写）、健康診断書

在学者：履歴書、卒業見込み証明書、成績証明書、健康診断書

締切日：平成18年10月6日（金）必着のこと

採用試験：平成18年10月14日（土）午前9時開始、見学随時受付

問合せ先：〒299-0111 市原市姉崎3426-3 TEL 0436-62-1211

見学問合せ：耳鼻咽喉科 石毛・高橋（内線 1267）ただし14時～17時

採用に関する問合せ、書類送付先：総務課（内線 2332）

千葉県千葉リハビリテーションセンター (福)千葉県身体障害者福祉事業団

募集 集:常勤・正規職員 言語聴覚士免許の取得者または見込者 特に経験は問いません

対 象:小児及び成人の言語障害全般

その他の:原則、週休2日制(土曜、日曜)祝祭日等、有給休暇:採用日からH19.12.31の間で15日以降1年に付き20日、その他、夏季休暇、結婚休暇、忌引等の休暇制度あり

給与額 203,000円~(短専3卒の新卒者の固定額、経験加算あり) 交通費実費(車通勤の場合は規定により距離数に応じた定額)

募集期間:平成18年8月31日(応募状況によっては延長の可能性がありますので担当者までお問い合わせください。) 勤務開始:平成19年4月1日

施設見学の希望、お問い合わせ等お気軽に電話ください。

また、事業団のホームページ(www.chiba-reha.jp)に詳細な情報を載せております。

応募方法:下記担当者まで電話連絡をしてください。応募書類等の説明をさせて頂きます。

問合せ先:〒266-0005 千葉市緑区誉田町1-45-2

千葉県千葉リハビリテーションセンター TEL 043-291-1831 内線432

総務部総務班 採用担当 御園(みその)

富里市簡易マザースホーム

募集 集:言語聴覚士(非常勤)1名

その他の:8時30分~17時15分(週3日応談) 勤務開始日:8月から、給与 時給1,280円

問合せ先:〒286-0221 千葉県富里市七栄653-2 富里市簡易マザースホーム 布田原

TEL 0476-92-2301

医療法人長谷川会 湘南ホスピタル

募集 集:言語聴覚士 非常勤

対 象:介護療養型医療施設での嚥下リハビリ中心

その他の:毎週水曜日(8時45分~17時) 日給18000円、交通費全額支給、昇給年1回

隨時、面接にて決定(履歴書持参)

問合せ先:〒251-0047 神奈川県藤沢市辻堂3-10-2 TEL 0466-33-5111

FAX 0466-36-5116 担当:事務長 服部

医療法人 福寿会

募集 集:常勤、非常勤 経験者・新卒者 若干名

対 象:失語症・構音障害・摂食嚥下障害他、老健・通所リハ・クリニック外来・訪問リハ

その他の:勤務開始時期 即時

福寿会リハビリテーション支援センターには、事務職1人、PT10人、OT8人、ST3人、鍼灸マッサージ師4人、リハビリ助手6人がいます。STは、「介護老人保健施設しらさぎ」担当、単独型通所リハビリセンター担当、訪問リハ担当に役割分担をしています。

介護保険施設は、利用者様と長くお付き合いできるのが良い所です。

医療保険では、クリニック外来、訪問リハ(介護保険でも)を実施しています。

問合せ先:東京都足立区梅田7-18-11 東武伊勢崎線 梅島駅から 徒歩5,6分

TEL 03-5681-0336 本部人事課 横山または、ST森 k-mori@mbj.nifty.com

当法人のホームページ(<http://www.fukujukaigr.or.jp/>)

医療法人社団健脳会 千葉脳神経外科病院

急募

募 集：言語聴覚士（有資格者）1名

その他の条件：8時30分～17時、4週7休、初任給24万円、有給初年度10日（入職半年後）

夏休、年末年始休暇有り、各種社会保険完備、できるだけ早く勤務して頂ける方。

問合せ先：〒263-0001 千葉市稻毛区長沼原町408 TEL 043-250-1228（代）

担当 リハビリテーション科 岡本 <http://www.chiba-nougeka.or.jp/>

千葉県こども病院

募 集：言語聴覚士 非常勤嘱託（週4日、30時間）有資格者、あるいは資格取得見込者

対 象：小児全般（口唇口蓋裂児の評価・訓練、聴力検査、発達検査・訓練他）

その他の条件：給与13～14万円程度、宿舎利用可能（単身者のみ）、履歴書による選考・面接、採用隨時

問合せ先：〒266-0007 千葉市緑区辺田町579-1 TEL 043-292-2111

千葉県こども病院 言語聴覚士 猪野（JR外房線鎌取駅よりバスで5分）

医療法人沖縄徳洲会 四街道德洲会病院

募 集：常勤1名（新卒、既卒いずれも可）

対 象：成人の失語症、構音障害、高次脳機能障害、嚥下障害等

その他の条件：8時30分～17時（半日勤務は4時間拘束）4週8休以上（日曜・祝祭日・その他公休あり年間105日）給与：学歴、年齢、経験等に応じ、給与規定により支給

手当：住宅（24,000円まで）保険等完備、賞与年2回 昇給年1回

応募方法：お問い合わせください（千葉徳洲会病院リハ科室長 木下まで）

応募書類：履歴書・（卒業見込書類）・（成績証明書）・健康診断書

選考方法：書類審査・面接等

問合せ先：四街道市吉岡字入輪戸1830-1 TEL 043-214-0111 FAX 043-214-0255

事務長 梶原

特定医療法人 千葉徳洲会病院

募 集：言語聴覚士 常勤1名 又は 非常勤1名

対 象：成人の失語症、構音障害、高次脳機能障害、嚥下障害、及び 小児

その他の条件：8時30分～17時（休憩1時間） 給与は学歴、年齢、経験等に応じ、給与規定により支給 住宅手当（24,000円まで）保険等完備、交通費 全額支給、募集期間 随時、

勤務開始日 応相談、リハビリDTR.2人、PT13人、OT13人、ST4人、MSW4人
回復期リハビリ病棟を持った職場です。

応募方法：電話でご連絡ください。見学、面談は隨時歓迎です。

問合せ先：〒274-8503 千葉県船橋市習志野台1-27-1

新京成線 高根木戸駅から徒歩5分、北習志野駅から徒歩8分

TEL 047-466-7111（代表）047-466-7113（リハビリ直通）

室長 木下 又は ST安原まで

佐倉市ことばと発達の相談室

募 集：言語聴覚士 非常勤1名（有資格者で経験者を希望）
対 象：小児（就学前児）の言語・聴覚相談及び指導、幼児健診等の言語・聴覚相談
その 他：平日週2～3回 各半日程度 勤務日、勤務時間など委細応相談、時給1,300円以上（経験年数により加算） 交通費支給、勤務日数により有給休暇あり 見学可能
応募方法：電話連絡の上、履歴書と資格免許書（写し）をご持参ください
問合せ先：〒285-0825 千葉県佐倉市江原台2-27 佐倉市健康管理センター
TEL 043-485-6711（担当：田中、北見）

医療法人社団心和会 新八千代病院

急募

募 集：常勤言語聴覚士（要経験者）
対 象：成人失語症、構音障害、高次脳機能障害、嚥下障害
その 他：初任給 247,000円、年次有給休暇 10日（入職半年後） 各種社会保険完備
問合せ先：千葉県八千代市米本2167 医療法人社団心和会 新八千代病院
TEL 047-488-3251 担当 事務長 立崎、リハビリテーション科 藤田

医療法人静和会 浅井病院

急募

募 集：言語聴覚士 常勤・非常勤（勤務日数応相談）
対 象：成人の失語症、dysarthria、摂食・嚥下障害等
問合せ先：〒283-8650 千葉県東金市家徳38-1 TEL 0475-58-5000（代表）
担当 企画管理浅岡・ST若梅

医療法人社団 雅厚生会 千葉新都市ラーベンクリニック

募 集：言語聴覚士 常勤 1名（経験者・新卒可）
対 象：嚥下障害、高次脳機能障害、失語症、構音障害など
入所、ディケア個別リハ 併設クリニック・外来、訪問看護ステーションからの訪問もあり
その 他：募集随時 勤務開始 応相談 平成11年11月開設 入所18床、通所リハビリ40名
給与は経験に応じて相談、年間休暇115日、年次有給休暇（入職半年後）10日、
夏期休暇・年末年始休暇有、各種社会保険完備、交通費上限 50000円
現在、STは常勤1名、非常勤が1名勤務しています。他にPT3名、OT4名がいずれも常勤であり、和気あいあいとした雰囲気です。ぜひ見学にいらして下さい。
千葉北総線 千葉ニュータウン中央駅から送迎バスが出ています。
問合せ先：〒270-1337 千葉県印西市草深138 事務長かSTの飯塚あてに連絡下さい
TEL 0476-40-7711 FAX 0476-47-7010

浦安市こども療育センター

募 集：言語聴覚士 非常勤1名（経験者希望）
対 象：0～18歳 言語相談・訓練（個別とグループ）
その 他：平成18年4月～、週2日（曜日は応相談）9時～17時 時給2,130円 交通費実費支給
応募方法：履歴書（写真添付）をご持参ください（郵送の場合、要電話）
平成18年3月下旬より、隨時面接を行います
問合せ先：浦安市こども療育センター所長 岡崎 〒279-0042 千葉県浦安市東野1-7-1
TEL 047-354-2722

介護老人保健施設 ユー・アイ久楽部

募 集：常勤言語聴覚士、新卒
対 象：成人言語障害、嚥下障害、
入所、ディケア個別、併設クリニック入院・外来、訪問看護ステーションからの訪問もあり
その 他：詳細は面接にて、応募隨時
現在、非常勤が1名勤務しています（木・土）。PT3名、OT2名がいずれも常勤であり、
和気あいあいとした雰囲気です。ぜひ見学にいらして下さい。
問合せ先：市原市西広131 TEL 043-620-0701 事務長古泉、リハ課課長西山まで

国保小見川病院

急募

募 集：言語聴覚士 常勤1名(新卒可)
対 象：成人言語障害・嚥下障害
その 他：8時30分～17時15分 週休2日 地方公務員 当院給与規定
共済組合による年金・保険制度 年次休暇ほか夏休、年末・年始
応募方法：電話連絡の上、履歴書をご持参ください
問合せ先：千葉県香取郡小見川町南原地新田438 TEL 0478-82-3161
リハビリテーション科 PT大塚 または庶務課長 高根

医療法人沖縄徳洲会 はさまレインボークリニック

募 集：言語聴覚士 非常勤1名（経験者優遇）
対 象：通所リハビリテーション 利用者（定員40名 入所なし）
その 他：平日週2回 各半日程度、出勤日など委細応相談、平成17年4月より
時給1,500円、年2回賞与（2～5万円） 交通費全額支給、有給休暇あり
応募方法：市販の履歴書（写真貼付） 資格の写し又は卒業見込証明書を郵送または持参
問合せ先：〒274-0822 船橋市飯山満町3丁目1345-1 東葉高速鉄道 飯山満駅徒歩5分
医療法人沖縄徳洲会 はさまレインボークリニック 事務長代行 蔵本
TEL 047-496-3883 <http://www.tokushukai.or.jp>

介護老人保健施設 千葉徳洲苑

募 集：常勤または非常勤 1名（できれば経験者を望む）
対 象：嚥下障害、高次脳機能障害、失語症、構音障害など（入所100床、通所リハビリ60名）
その 他：勤務開始は応相談、募集期間 随時、平成10年3月開設、見学可能
問合せ先：〒274-0068 千葉県船橋市大穴北7-22-1 （新京成線 高根公団駅から送迎バス有）
TEL 047-457-8411 FAX 047-457-9800 事務長あてに電話下さい

良志会 リハビリテーションクリニック リハビリテーション土気

募 集：急募 随時
対 象：成人（外来、入院）
その 他：8時～17時、4週8休、病床数18床、施設基準 理学、作業、言語療法
併設で、通所リハ施設があります。訪問看護、訪問リハも行なっています。
問合せ先：千葉市緑区土気町446-52 TEL 043-205-6211 FAX 043-205-6222 事務長 岩佐

東京医薬専門学校

募 集：常勤または非常勤(応相談)

業務内容：講義(成人・小児) and/or 附属施設での小児臨床

そ の 他：勤務開始時期 随時、東京都江戸川区東葛西 6 - 5 - 12

問合せ先：お電話、mailにてお問い合わせ下さいTEL 03 - 3688 - 6161 mail takahira@tcm.ac.jp
言語聴覚士科 高平

介護老人保健施設 ハートケア流山

募 集：言語聴覚士 常勤・非常勤

対 象：成人失語症、構音障害、高次脳機能障害、嚥下障害（入所 120 名、通所 36 名）

そ の 他：常勤週 40 時間、非常勤週 2 ~ 3 日（時間は応相談）

問合せ先：千葉県流山市小屋 146 - 1 TEL 04 - 7178 - 2200 riha@hc-nagareyama2200.jp
電話・メールにてお問い合わせ下さい。

介護老人保健施設 ユーカリ優都苑

募 集：常勤または非常勤

対 象：入所（一般・ショートステイ）96 名、通所リハ 40 名

そ の 他：千葉県佐倉市青苔 1010 - 15、開設 平成 17 年 6 月

問合せ先：開設準備室 P T 加藤さん 佐倉市南ユーカリが丘 11 - 2 S Y ビルTEL 043 - 460 - 7117
<http://www.yutoen.com>

坂の上外科

募 集：言語聴覚士 常勤もしくは非常勤 1 名

対 象：一般外来リハ、通所リハ、訪問リハ、療養病床 12 床、一般病床 7 床

そ の 他：8 時 30 分 ~ 17 時 30 分（応相談）勤務日 応相談、待遇 当院規定優遇

問合せ先：千葉市緑区土気町 311 TEL 043 - 294 - 5551 FAX 043 - 294 - 6513
リハビリテーション科 PT 波平（なみひら）

事務局から

1. 賛助会員を募集しています

本会の目的に賛同し、本会の事業を賛助していただける団体、または個人を募集しています。

賛助会員は正会員同様、県士会ニュースなどの刊行物を受け取れるほか、年 1 回無料で広告を掲載できます。皆様のまわりで該当する団体・企業など、お心当たりがございましたら、事務局までご一報ください。必要書類などをお送りいたします。

2. 年会費納入のお願い 重要

本会の年会費は前納制となっています。平成 18 年度の会費をまだ納入していない方は、大至急お振込みいただきますようお願いいたします。本会の会則により、2 年以上会費未納の場合、退会処分となりますのでご注意ください。研修会当日も年会費の納入を受け付けております。ご利用ください。

3. リーフレットの配布

千葉県言語聴覚士会のリーフレットを所属施設に置きたい、研修会などで配布したい等ご希望がありましたら、必要部数と連絡先を明記し、事務局までお申し込みください。追ってご連絡いたします。また県士会ホームページにも掲載されていますので、ご覧ください。

4. 新入会員のお知らせ (敬称略) 会員数: 正会員262名 会友32名 贊助会員5団体 + 1名

(平成18年8月20日理事会承認分まで)

... 正会員 ...

塚原 信子 (白金整形外科病院)	戸村 有紀子 (島田台病院)
北田 優子 (亀田メディカルセンター)	新谷 晴夫 (東京医薬専門学校)
今枝 明弓 (旭神経内科リハビリテーション病院)	前里 伸子 (我孫子市こども発達センター)
村田 和人 (大野中央病院)	高橋 乃理夫 (千葉県こども病院)
外立 和美 (千葉ステップアップ教室)	山崎 秋音 (千葉県こども病院)
岩渕 良也 (八千代リハビリテーション病院)	竹中 祐子 (塩田病院)
木下 亜紀 (のぞみ牧場学園)	櫻田 千絵 (のぞみ牧場学園)
石田 麗子 (東京慈恵会医科大学附属柏病院)	大森 落恵 (ゆざ耳鼻咽喉科医院)
太田 直樹 (旭神経内科リハビリテーション病院)	
阿部 明日香 (旭神経内科リハビリテーション病院)	

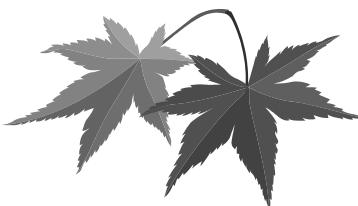
... 会友 ...

龍 謙嘉 (公立阿伎留医療センター)

... 贊助会員 ...

学校法人 滋慶学園 東京医薬専門学校
大儀 邦雄

リオネットセンター千葉



編集後記: 田んぼの稲刈りも終わり、秋本番です。

読書の秋、芸術の秋、食欲の秋・・・皆様はどんな秋をお過ごですか?
急に寒くなってきました。体調を崩さないよう、お気をつけください。

事務局

〒272-0823 千葉県市川市東菅野2-12-4 市川ことばの会 内

TEL/FAX: 047-324-5023

E-mail: chibakenshikai@zp.moo.jp

ホームページ: <http://chibakenshikai.moo.jp/> 会員専用パスワード: affordance

